

みなぶんNEWS!

第4号

2021.8.13 発行
横浜市都市整備局・道路局



みなぶんNEWS! とは?

関内駅周辺では、大規模なまちづくりのプロジェクトがいくつも進んでおり、これから大きく変化を遂げようとしています。それに伴って、みなと大通り及び横浜文化体育館周辺道路(略して”みなぶん”)も再整備を予定しており、沿道の皆様や利用者の方々のご意見を聴きながら、歩いて楽しい通りとしていくためニュースという形で進行状況をお知らせしていきます。

第2回利活用検討会議を実施しました!

“みなぶん”の再整備に際して、利活用のできる魅力ある道路空間とするため、利活用の方法や将来の運営方法・組織のあり方について話し合う場として、現在沿道で営業されている方や、これから沿道で事業を営まれる方を対象に「利活用検討会議」を開催しています。過日、第2回目の会議を開催し、令和2年11月9日～30日に実施した社会実験の感想や、今年度予定している社会実験の実施について、意見交換を行いました。

<第2回利活用検討会議>

日時: 令和3年5月30日(日) 10:00～11:30

場所: 公益社団法人 横浜中法人会税経研修センター2階 大研修室

参加者: 8事業者(10名)

会議概要

1. 令和2年度社会実験「みつけるみなぶん」の結果報告(横浜市)

- ・社会実験の実施概要、アンケート結果、課題等、利活用状況
- ・みなぶん設計検討状況・今後のスケジュール

【頂いたご意見】

- 道路に電源を整備することが、飲食を出店したり、音楽を演奏するイベントを開催する際のポイントとなると思う。
- 関内は路地が多く夜が暗いので、照明を整備し、歩ける環境を作ることが大事。
- 景観は大事。ヨーロッパも景観を重視していてとてもきれい。
- 子育て世代が楽しめ、くつろげる場所を提案したが、それが反映されていてよかった。

2. 令和3年度社会実験の実施について(横浜市)

- ・概要説明

【頂いたご意見】

- 街について語るイベントや、音楽祭をやってはどうか。
- 文体側でもやってほしい。
- デジタルスタンプラリーで回遊性を向上させてはどうか。

令和3年度 道路活用実験「みつけるみなぶん2」を実施します

昨年度の社会実験では、車道幅や車線数の減少に伴う自動車交通への影響を確認するため、交通量調査を実施し、渋滞発生の有無等を確認しました。

今年度は、横浜スタジアムの試合日を含めた期間において、ハマスタ入口交差点付近の車道の一部を暫定的に歩道へ転換し、イベント時における道路空間の使い方や賑わいの創出に有効な道路空間のあり方について検証します。



写真: 昨年度の「みつけるみなぶん」の様子



撮影: 加藤南

概要

実施期間: 令和3年9月24日(金)～10月10日(日)(予定)

実施箇所: 下図のとおり

実施内容: 車両防護柵やカラーコーンを用いて、暫定的に車道幅員を一部縮小します。縮小した車道の一部を歩道へ転換し、イベント時における道路空間の使い方や賑わいの創出に有効な道路空間のあり方について検証します。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止へ配慮した運営を行います。

※緊急事態宣言が延長された場合は社会実験の実施について改めて検討します。



期間中、様々な利活用方法を検証します。沿道の皆さまの参加や、利活用アイデアの実践をお待ちしています。

「使ってみたい!」という方は、ぜひ、下記担当者までご連絡ください。

お問い合わせ 横浜市都市整備局都市デザイン室 担当: 山田・桂(利活用検討担当)
TEL: 045-671-2023(直通) E-mail: tb-toshidesign@city.yokohama.jp
本事業は、道路局企画課と都市整備局都市デザイン室・都心再生課が連携して進めています。